

国際キワニス スピーチの要点

定義文

キワニスとは、子ども一人ずつ、地域社会一つずつから着実に始め、遂には世界を変えようと献身的に活動するボランティア達の国際奉仕団体である。

1

キワニスの歴史

- キワニスは1915年、全米で多数の組織が形成され、成功した時代に、デトロイトで誕生した。
- 初期のキワニスクラブは、会員間のビジネス交流を振興した。
- 1919年までにキワニスは、ビジネス・ネットワーク作りより、奉仕活動に力を入れるようになった。
- 1962年、米国およびカナダ以外で最初に設立されたキワニスクラブ-メキシコ、バハ・カリフォルニア州、ティファナ-のキワニスクラブが認証された。
- 1963年、ヨーロッパ初のキワニスクラブが、オーストリアのウィーンに設立された。
- 1964年1月、アジア太平洋地域初のキワニスクラブが、東京に設立された。

2

キワニスの影響

- 国際キワニスおよびキワニス・ファミリーのクラブは、世界中の地域社会で、年間1,800万時間以上のボランティア活動を実施し、1億700万米ドル以上の資金を投入している。
- キワニスクラブの支援により世界中で実施されている奉仕活動プロジェクトは、年間15万を超える。
- キワニスの奉仕活動およびリーダーシップの影響は広範囲に及び、世界中の地域社会に良い影響を与えている。

3

キワニスの世界進出

- キワニスは、世界の地域社会において、奉仕活動およびリーダーシップの「優秀さ」を定義づけるために邁進している。
- 国際キワニスおよびサービス・リーダーシップ・プログラムには、80以上の国や地域に1万6,000以上のクラブがあり、約60万人の会員—男性、女性、若者—が所属している。
- キワニス初の子どものための世界キャンペーンでは、世界で最も予防可能な精神障害の主要因であるヨウ素（ヨード）欠乏症を事実上撲滅するため、会員はユニセフと共同でプロジェクトを実施したほか、1億米ドルもの資金を調達した。このキャンペーンは世界で最も成功した保健イニシアチブの一つとして歓迎されており、その資金は現在、103カ国以上で活用されている。また、ヨウ素添加塩を使用している家庭の数は1990年の20%から70%以上にまで飛躍的に伸び、途上国など世界で知能発達障害防止に貢献している。
- 現在、キワニスとユニセフは再びパートナーを組んで「エリミネイト・プロジェクト：キワニスは妊産婦・新生児破傷風を撲滅します」を実施している。キワニスとユニセフは、2015年までに妊産婦・新生児破傷風を撲滅するため、世界で最も貧しく、恵まれない女性や子ども達を支援している。

4

エリミネイト・プロジェクト

- キワニスが実施する子どものための世界キャンペーン、「エリミネイト・プロジェクト：キワニスは妊産婦・新生児破傷風を撲滅します」は、1億2,900万人の女性と新生児の命を救うことを目的としている。
- キワニスはユニセフとパートナーを組み、9分に一人の赤ちゃんの命を奪っている破傷風の撲滅を目指し、活動を行っている。
- キワニスとユニセフは、母親の健康と子どもの生存を高める他の活動への道を開きながら、世界で最も貧しく、恵まれない女性や子どもを対象に活動を行っている。キワニスとユニセフは手を取り合い、世界に変化をもたらしている。

5

エリミネイト・プロジェクト

- 妊産婦・新生児破傷風は、3種類のワクチンを出産可能時期の女性に接種することにより簡単に防ぐことができる。その費用は1.8米ドルほどである。
- 概算で3億8,700万回分のワクチンを供給するのに必要な資金を補てんするため、エリミネイト・プロジェクトは、今後5年間で1億1,000万米ドルの資金を調達する予定である。
- エリミネイト・プロジェクトは、ジュネーブで開催される第96回国際キワニス年次総会から正式に開始する。
- エリミネイト・プロジェクトの詳細については、8カ国語で閲覧可能な以下のウェブサイトを参照のこと：
www.TheEliminateProject.org

6

国際キワニス財団

- 国際キワニス財団は、1939年に設立された。
- 設立当初より国際キワニス財団は、資金規模数百万ドルの財団に成長し、世界中の何千ものキワニスクラブや、ユニセフやスリーピング・チルドレン・アラウンド・ザ・ワールド（Sleeping Children Around the World, SCAW）などの非営利団体に補助金を提供している。
- キワニスのクラブや地区、地域が世界中の地域社会で行っている活動は、国際キワニス財団の活動を最も良く示している。キワニスはこれらの奉仕活動を支援することにより、地域や世界的なニーズに対応することにおいて重要な役割を担っている。
- 国際キワニスを実施する子どものための世界キャンペーンを通じて、国際キワニス財団は、より良い世界のために変化をもたらしている。

7

クラブおよび会員の経験

- 適切なクラブの経験の重要性が、新たに強調された。
- 多様なクラブの経験は組織全体を豊かにし、参加を考えなかった人々に門戸を開いた。
- キワニス入会の魅力を変化する現代社会に幅広くアピールするため、国際キワニスは新しいクラブ・

- イニシアチブを採択した。
- キワニスが世界中で行う善は全て、クラブレベルでも起こる。

8

奉仕活動にフォーカス

- キワニスは、一般の人々や子どもたちのニーズに焦点を当て、日常生活では味わえないような、人生を変えるほどの瞬間を作り上げる。
- 世界にはニーズが多くあるが、世界に散らばる7,700以上のキワニスクラブが手を取り合えば、子どもたちや地域社会に対して、素晴らしいことができる。
- 毎日、キワニスのリーダーは、地域の活性化や、読書プログラムを通じた子どもたちとのふれあい、遊び場の建設など、子どもたちや地域社会を支援する数え切れないプロジェクトの実施を通じて、功績を挙げている。

9

リーダーシップにフォーカス

- キワニスは、影響を与える奉仕活動という伝統の継承を強固にするため、日々のリーダーを育成し、奮起させる。
- キワニスは、人格形成や個人のリーダーシップ・スキルの開発を行うプログラムを通じて、次世代のリーダー育成に取り組んでいる。
- キワニスに世界に与える影響は、キワニスの会員の数ではなく、キワニスが育てた1,000万人のリーダーによって評価される。

10

サービス・リーダーシップ・プログラム

キワニス・サービス・リーダーシップ・プログラムは、様々な年齢の人々に、以下のようなリーダーシップ開発の機会を提供する：

- 小学生（5～10歳）対象のKキッズ、ブリング・アップ・グレイズ（BUG）*、テリフィック・キッズ
- 中学生（11～13歳）対象のビルダーズ・クラブ
- 高校生（14～18歳）対象のキー・クラブ
- 14～1818歳の学生を対象にした、週末リーダーシップ体験のキー・リーダー
- 大学生（18歳以上）対象の国際サークルK
- 障害を持つ成人対象のアクションクラブ

キワニスとそのサービス・リーダーシップ・プログラムを通じて、成長過程のリーダー達は固い絆で結ばれ、奉仕活動を自ら申し出て、より強い地域社会を作り上げる。

*アメリカおよびカナダのみで実施。

対象年齢の範囲は全ておよその数字

11

Kキッズ

- Kキッズ・クラブは、小学生（5～10歳）を対象に、他人を助けるプロジェクトの計画方法などを学ぶ、最初の機会を提供する。
- このプログラムは8カ国1,200以上のクラブによって行われており、学生に学校や地域社会で共に貢献する機会を与え、基本的なリーダーシップを開発し、道徳のある人格を育成する。
- Kキッズは、キワニス・キッズの奉仕活動の一つである。

対象年齢の範囲は全ておよその数字。

12

ビルダーズ・クラブ

- ビルダーズ・クラブは、12カ国1,400以上の中学校で中学生（11～13歳）が自分達の学校や地域社会に貢献する機会を提供している。
- ビルダーズ・クラブが様々な奉仕活動学習カリキュラムに効果的に貢献しているのは、人間形成の上で非常に大切な時期にリーダーシップ開発およびガイダンスを行っているためである。
- ビルダーズ・クラブは、様々な形で学校や地域社会に貢献するよう促しているが、その奉仕活動は、秋はユニセフに、春はマーチ・オブ・ダイムスに焦点を当てている。

対象年齢の範囲は全ておよその数字。

13

キー・クラブ

- 国際キー・クラブは、高校生（14～18歳）を対象とした世界最大の奉仕活動リーダーシップ組織である。
- キー・クラブは、30カ国5,000近いクラブでリーダーとなり奉仕活動を行えるよう、25万人以上いる青少年会員を強化・育成している。
- 最初のキー・クラブの設立は1925年、カリフォルニア州サクラメントにあるサクラメント高校であった。
- 毎年、1,200万時間以上の奉仕活動を行うキー・クラブは、リーダーシップ・スキルを身につけたい、友情を築きたい、地域社会に貢献したいという10代の若者に、歴史上、最も人気のある高校生の組織である。
- キー・クラブの会員は、人のためになりたいという情熱を持ち、一生持ち続けることができる、すばらしいリーダーシップ・スキルを培う。

対象年齢の範囲は全ておよその数字。

14

国際サークルK

- 大学生（18歳以上）を対象とした、世界初の奉仕活動組織である国際サークルKは、18カ国510以上のキャンパスにある。
- プログラムの作成は、最も重要視される奉仕活動と共に、奉仕活動、リーダーシップ、親睦の理念に基づいている。
- 組織の奉仕活動のパートナーは次のとおり：ユニセフ、マーチ・オブ・ダイムス、ベター・ワールド・ブックス、スチューデント・チームアップ・トゥ・ファイト・ハンガー（飢饉撲滅学生チーム）

- CKIは1936年、ワシントン州プルマンにあるワシントン州立大学にルーツを持つ。
対象年齢の範囲は全ておよその数字。

15

アクションクラブ

- アクションクラブは、障害を持つ成人のための、唯一の地域社会奉仕活動クラブである。
- アクションクラブは、会員が社会と調和しながら地域社会に貢献する中で、自発性とリーダーシップ・スキルを養う機会を提供する。
- アクションクラブの会員は、自分たちが受けてきた恩恵や支援、やさしさを自分たちの地域社会に還元しようと努力しており、その過程で重要なスキルを身に付けている。
- アクションクラブは7カ国に450以上あり、9,000名以上の会員がいる。

16

キワニス・ワンデー

- キワニス・ワンデーは毎年、4月の第一週目の週末に行われる。これは、同じ日に実践的な地域社会奉仕活動プロジェクトを行うことで、世界のキワニス・ファミリー・メンバーと彼らの地域社会を一つにする目的で行われる。
- キワニス・ワンデーでは、約60万人のキワニス・ファミリー・メンバーが、それぞれの地域社会で奉仕活動プロジェクトに参加する。この決められた一日に、一人が数時間奉仕活動をするだけで、世界中のキワニアンが奉仕活動に費やす時間は、100万時間以上にもなる。
- もし、キワニス・ワンデーで約60万人のボランティアが、それぞれの地域社会で奉仕活動を行った場合、ボランティアが費やす時間は、1,700万ドル以上の価値を生み出す。

17

リード・アラウンド・ザ・ワールド

- キワニスは、子どもたちが一生楽しめる読書を奨励する奉仕活動プログラムである、リード・アラウンド・ザ・ワールドを通じて、子供たちに読書の楽しさと重要性を伝えている。
- クラブは、子どもたちに重要で意味があり影響を与える、継続的なプロジェクトに全力を傾けるよう奨励されている。
- キワニスの目的は、リード・アラウンド・ザ・ワールドを通じて、子供の識字率向上に焦点を当てることにより、勉強の理解力や成績がさらに向上するよう、子供たちを支援することである。

18

プレゼンテーション計画チェックリスト

準備

- ・立って、大きな声を出してスピーチの練習をする。
- ・ボディールランゲージと姿勢に注意を払う。
- ・十分に準備の時間をとる。

プレゼンテーション

- ・導入部ではスピーチの目的を説明しているか？
- ・聴衆の興味を引く内容か？
- ・事前に聴衆に内容を説明しているか？
- ・主要な事項は、論理的な順番になっているか？
- ・自然な流れで話が進められるか？
- ・視覚機材は、スピーチの補助となっているか？
- ・クロージングは、プレゼンの内容をまとめているか？
- ・結論は強力か？
- ・結論と導入部は繋がっているか？
- ・主題に関する知識は十分か？
- ・リハーサルはしたか？
- ・使用機材やプレゼンテーションを行う場所について、よく理解をしているか？
- ・マイク、ノートパソコン、機材は、しっかりと動作するか？

話し方

- ・重要なポイントをわかりやすくするために、例を使う。
- ・ボディールランゲージは、エネルギーに。演台の後ろに居続けない。
- ・速く話すぎない。過ぎたるは及ばざるがごとし。間をとるのは効果的。
- ・視覚機材を使う。